

特集

- ・遮熱塗料「ミラクール」
- ・力あわせる地域社会
～金井沢碑～
- ・平昌オリンピック
- ・「至高」プレゼント 期間延長中
- ・第1回 高崎問屋街大感謝祭
- ・第24回 上州どっと楽市 出店いたします

企画:頭の体操

遮熱塗料「ミラクール」

3月に入り年度末で忙しい時期となりました。少しずつ寒さも和らぎ、過ごしやすい季節とはなりましたが、油断して体調を崩さないよう気を付けたいところです。

さて、弊社では紙製品以外にもお客様の職場環境をより快適にする為の商品として水宅配事業や、セキュリティ BOX (機密文書回収)、LED 照明への交換工事などを新規事業として行っております。その一つとして遮熱塗料の塗装工事も新たに始めましたのでご案内したいと思います。

遮熱塗料は、屋根に塗るだけで太陽からの熱を効果的に反射して室内の温度上昇を抑えられます。工場、倉庫、オフィス等の屋根に遮熱塗料を塗ることにより、夏場の暑い時期の熱中症対策や、空調負荷が減り節電、省エネに繋がります。また熱に弱い原料、商品を扱っている企業様では、熱での品質劣化も抑えロスへの減少にも繋がります。遮熱塗料にも多くの商品がありますが、弊社でご提案する遮熱塗料は「ミラクール」という商品です。この「ミラクール」は耐久性、遮熱効果に優れた商品で、1996年から多くの実績を積んで高い評価をうけ、塗料業界誌でも総合評価トップの商品となりました。日射反射率は塗装後 92.2%と業界最高レベルの反射率で、経年劣化も他社製品と比較して非常に少ないのが特徴です。一般的に遮熱塗料は約 10 年経つと太陽の熱により塗膜が伸び縮みし割れてしまう事が多く、塗膜の汚れや剥離などもあって効果が薄れてきますが、ミラ

クールはユーザー様の屋根の状況を調べたところ、10年後も塗膜の剥離は全くありませんでした。また防汚機能にも優れており、汚れも少なく 80% 近くの日射反射率を維持していました。気になる施工費も上塗りが白色か淡彩色の場合は他社製品だと基本 2 回塗りになりますが、ミラクールは 1 回塗りで完了となりますので施工費も安価です。

ミラクールは 2020 年の東京オリンピックに向けて東京都内の道路 130 km の塗装としても選ばれ、現在施工中です。遮熱塗装を考えている方、夏場の熱中症対策をお考えの方、省エネ、コスト削減をお考えの方、少しでも気になったら是非弊社担当営業までお問い合わせください。お見積りも無料となっております。今年の夏の暑さ対策にいかがでしょうか。

(み)



力あわせる地域社会 ～金井沢碑～

上野三碑の「世界の記憶」登録記念として、しばらくの間お付き合いいただきました私の連載も、今号で最後となります。今回は「金井沢碑」についてのお話です。

金井沢碑が建てられたのは、奈良時代前半の神亀3年726年)。碑文は9行112文字で、「三家(みやけ)」という豪族が、彼ら一族6人および協力者3人の名のもとに「知識」を結び、先祖の供養と一族の繁栄を願って碑を建てた、ということが刻まれています。

この場合の「知識」とは、仏の教えに従ってお寺を建てたり仏像を作ったり、写経や慈善事業を行っていこう、という活動のことです。有名な東大寺の大仏も、全国各地から「知識」の力を合わせて建立されたものです。

これは、単純に宗教活動を行っていくというだけの宣言ではありません。お寺を建て仏像を作るには、建築や木工・石工・金工の技術が必要とされます(実際、碑に刻まれた名前の中には鍛冶師のものがあります)。写経をするためには文字を勉強しなければなりません。「慈善事業」として橋や道を作り、病人や怪我人の世話をするにも、専門的な技術や知恵が必要です。

「知識を結ぶ」とは、仏教を抛り所として力を合わせ、様々な社会事業を進めていこう、という地域共同体の設立を意味するのです。

また、碑に出てくる9人の名前のうち4人が女性である(碑を建てた人物の妻・娘・孫2人)ということも大きなポイントです。このうち妻の名は「他田君(おさだのきみ)目頼刀自(めづらとじ)」と、出身氏族名を伴って書かれています。

この時代・この地域の女性は、結婚しても元の家と強い繋がりを持ち続けており、祭祀や社会活動でも前面に立って大きな役割を果たしていたことが読み取れますね。上州の「かかあ天下」気質は、千年以上昔からあったのでしょうか。

三家一族が住んでいたのは、「上野国(こうずけのくに)群馬郡(くるまのこおり)下賛郷(しもさぬごう)高田里(たかだのさと)」と刻まれています。

これは、現在の県名である「群馬」という文

字が出てくる最古の記述です。正確には古い漢字で「羣馬」とあり、群馬県の紋章にも「羣」という文字が使われています。

「下賛郷高田里」というのが具体的にどこであるかは、実のところははっきりと分かってはいませんが、現在碑が建っている場所から川を挟んで対岸にある「高崎市下佐野」地域ではないかという説が有力です。山上碑にも「佐野三家」という文字が登場することから、2つの碑は同じ一族の出身者によって建てられたものと考えられています。

山上碑と金井沢碑は歩いて40分ほどの山道によって結ばれており、少し寄り道すれば中世の城跡を散策することもできます。歩道の脇には、万葉集などの歌を刻んだ碑や地域の歴史にまつわる案内板が随所に設置されていて、「石碑(いしづみ)の路(みち)」と呼ばれています。

この歌碑は個人の方が市にかけあって設置活動を始めたもので、その方が亡くなった現在では高崎商科大学の学生グループなどが志を受け継いで活動を続けています。

また、道の途中ぬかるみ多い場所には石が埋められています。これもまた違う個人の方が長年かけて活動されているものです。

ふたつの碑の近くにある休憩所では、地元のボランティアが訪問者にお茶を出し、碑についての解説を行っています。

1300年ほど昔に交わされた、地域共同体の誓い。それが現在でも受け継がれ、文化活動が営まれていること。この地域に住まうものとして誇りに思うとともに、この宝をより多くの方々に知っていただき、記憶に留めていただければと願うばかりです。(さ)



平昌オリンピック

2月25日に、第23回オリンピック冬季競技大会(2018/平昌)が閉会しました。日本の獲得メダルは金メダル4個を含む、冬季史上最多の13個。日本と平昌は時差がないため、比較的応援しやすかったとはいえ、夜に行われる競技も多く、寝不足になった方も多かったのではないのでしょうか。私はカーリングの応援で度々寝不足になって、日中眠さをこらえておりました。特に女子の準決勝、3位決定戦は手に汗握る展開でした。

さて、カーリングといえば、4年に1度だけ盛り上がる競技、などと言われていますが、皆様ご存知のようにルールは非常に単純です。ストーンと呼ばれる上部に取っ手をつけた石を氷上に滑らせ、ストーンをハウスの中心により近づけたチームが得点を得ます。2人の選手が、ストーン前の氷面をスウィープしている姿は印象的ですね。

このストーン、何でできているかご存知でしょうか。競技中継などを見ていると分かるかもしれませんが、花崗岩です。特に、国際大会で使用されるものは、スコットランドのアルサクレグ島特産の花崗岩が主流だそうです。他産地の石では密度が低く、氷の上で石が水を吸い、吸われた水

が再び凍ったときに石が膨張して割れてしまうことがあるからとか。アルサクレグ島産の「粘りと弾性に優れた石」を衝突が起こる胴体部に、「硬く滑りやすい石」を滑走面に使っているとのこと。しかも、資源保護の観点から、採石は20年に一度しか行われないとことで、直近では2002年に採石されたそうです。100年以上使用できるとされているほど耐久性が高いそうなので、それくらいの頻度でも問題がないのかもしれませんが。胴体部と滑走面で異なる石が使われていることも驚きですが、産地がほぼ限定されていることも驚きです。

カーリングを一度は体験してみたいな、としばらく前から思っていますが、群馬でできる場所がなく、残念ながらまだ体験しておりません。お隣長野県には専用施設があるようなので、次のオリンピックまでには体験してみたいものです。

スギウラも、カーリングチームを見習って、チームワークを大事にし、お客様のお役にたてるよう努めたいと思います。(M)

「至高」プレゼント 期間延長中

昨年12月よりウォーターサーバーをお試しいただいたお客様に、クリネックス高級BOXティッシュ「至高」のプレゼントキャンペーンを実施しておりました。2月までの期間限定の予定でしたが、お客様からのご要望にお応えして、3月中にウォーターサーバーをお試しいただいたお客様にも引き続き「至高」をプレゼントさせていただきます

ウォーターサーバーのお試し期間は通常約1週間、または12リットルのボトル1本を使い切るまでが目安ですが、数日間でも構いません。

サーバーも床置きタイプと卓上タイプからお選びいただけます。お得なこの機会にお気軽にお試しいただければ幸いです。(せ)



頭の体操

紙には沢山の種類がありますが、以下の語群の単語の後に「紙」を付けた時、実際にある紙の名前がいくつあるか、ア～オの中から1つ選んでください。

語群

上質 痛 コート 乾熱 上方 雁皮 渡航 強制 笠 上更 地理 三菱製 白葉

ア,1つ イ,3つ ウ,5つ エ,7つ オ,9つ

解答は次ページです→

第1回 高崎問屋街大感謝祭

去る2月24日に「第1回 高崎問屋街大感謝祭」がイベント高崎 ビッグキューブで開催されました。当日はお天気にも恵まれ、とても多くのお客様にご来場いただき、まことにありがとうございました。

当日の様子が少しでも伝わればと思い、写真を載せておきます。

4月には「第24回 どっと楽市」が開催されます。弊社はこちらにも出店する予定ですので、皆様に喜んでいただけるような品物を用意し

てお待ちしております。



スギウラ株式会社

〒370-0006
高崎市問屋町 2-2-8

電話番号

代表
027-361-5808
営業1部
027-361-5734
営業2部
027-361-5780

Fax

027-361-1272

当社 Web サイト

www.kamisugiura.co.jp

第24回 上州どっと楽市 出店いたします

今年もイベント高崎において、春の上州どっと楽市が開催されます。日程は一日目が4月21日(土)9:00~17:00、二日目が22日(日)9:00~16:00です。



弊社も出店いたしますので、御用とお急ぎでない方はぜひお越しください。お待ちしております。当日の目玉商品にご期待ください。(写真は前回です)

頭の体操 解答

正解はウです。

実際にある紙の名前は、「上質紙、コート紙、雁皮紙、強制紙、上更紙」の5種類になります。

- ・上質紙…晒化学パルプ100%で作られた代表的な印刷用紙。白色度は75%以上、書籍などに使用される。
- ・コート紙…上質紙・中質紙の表面に鉱物性白色顔料を塗って表面に平滑性をもたせた印刷用紙。雑誌の表紙や口絵などに使用される
- ・雁皮紙…ガンピの韌皮(じんび)繊維を原料とした和紙。光沢があり、強く耐久性に優れており、破れにくく、湿気・虫害にも強く、古来「紙の王」とよばれて珍重される。
- ・強制紙…手揉みでしわ加工を施した強度・耐久性のある和紙
- ・上更紙…晒化学パルプ40%以上70%未満で作られた印刷用紙。白色度65%前後、雑誌の本文等に使用される

お気付きの点や質問、疑問などありましたら、ご遠慮なく営業または、下記までお問合せください。

お問合せ

メールアドレス

sg-okamoto
@kamisugiura.co.jp